

オールベン時にオーナーが定めるべき「要石」とは!

読者から反響の大きいオールベン作業の総括として、追加のボディの弱点と依頼時の最重点ポイントについて考えたい。

まずはボディの弱点の追加項目。これまで紹介した左Aピラーと右トランク付け根等といったボディの弱点のほかに、500E特有の要注意点を紹介する。

ヘアライン号の作業中にサバイブに幸い? 入庫していたE500では、トランクのバッテリーフロア部が、パンタリーリー液のオーバーフローで腐食穴が開いていた。これは、トランクからの水もたまりやすく、酸によつて腐食しやすい場所。予防策は、

定期的にメンテをするか、酸中和効果のあるバッテリーマットを敷くことだといつ。

このフロア部品は入手が困難で見落とさないよう!

どうやりたいかを正確に伝える!

さて次は、オールベンを考えているオーナーのために、何をどこまでやるのか、どうしたいのかを初めて定めて依頼することの大切さを説明したい。

限りある予算と時間の中で、大事なのは何と言つても、どこをどうし

それを省いて「いくら? いつ?」は正直算定できないのである。オーナーとして、虎の子の予算と、目に見える外観に引かれる気持ちは、ごもつとも、よく理解できること、本連載を通じて筆者が学んだことは、目に見える美しさの裏には、



たいのか、どこまでやるのかを定めること。これを定めないとお任せで頼んでも、必ず食い違いや解釈の相違が出てくる。

具体的には、オールベンと言つても、連載で紹介したように部品を外すのが、再使用するのか、新品を入れるのが、欠品はどうするか、見えないとここまで手を加えるのか、フレーム測定、修正はするのか、下地をどうするのか、塗膜は? 肌は鏡面かゆず肌か、チリ合わせは? などの問題が山積みになる。それらは密接に関連しており、多くは後からは決して足せない。

それを省いて「いくら? いつ?」

は正直算定できないのである。

オーナーとして、虎の子の予算と、

目に見える外観に引かれる気持ち

は、ごもつとも、よく理解できること、本連載を通じて筆者が学んだことは、目に見える美しさの裏には、

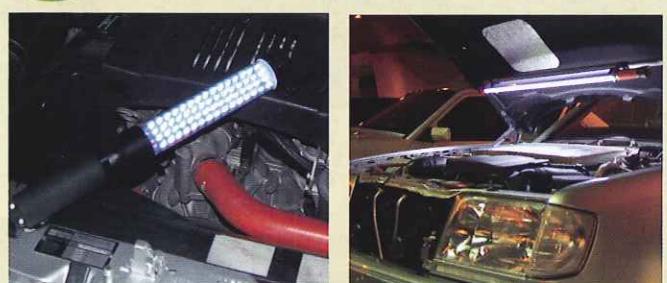


サバイブ製FRPダクトのNewVer。スラントラインをまとめてネットを同色にペイントすることにより、違和感がなく纏まる。



作業中に見つけた優れものを紹介

充電式69&128灯LEDライト

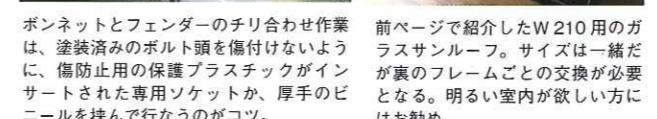


多くのプロメカニックが愛用する充電式の69灯のLEDライト。HIDやキーレスでおなじみのスマイルカードでは何と4,800円! 加えて、昨年から圧倒的人気の128灯のLEDボンネットライトは25,000円。ボンネット作業時の手暗がりを防ぎ、夜間屋外でのメンテにもとても便利。6時間充電で連続4時間は使用できるのが嬉しい。

■問い合わせ:スマイルカード

■TEL: 03-5305-8081

■URL: <http://store.yahoo.co.jp/smilecard/>



前ページで紹介したW210用のガラスサンルーフ。サイズは一緒だが裏のフレームごとの交換が必要となる。明るい室内が欲しい方はお勧め。

ボンネットとフェンダーのチリ合わせ作業は、塗装済みのボルト頭を傷付けないように、傷防止用の保護プラスチックがインサートされた専用ソケットか、厚手のビニールを挟んで行なうのがコツ。

そこで、ただものではない技術や銀河となるのである。

目に見えるメタリックのシルバーは、小さなメタルフレークの反射によつて見えるが如しである。

だからこそ、オーナーはどこまでやるのかを事前に、事細かによく打ち合わせて決めること、これを省くと、期待していた結果と異なつて無用なトラブルとなるのである。

技の連続があるといつことである。それらそれぞれ輝く小さな綺羅星があつて、初めて満天に広がる星、銀河となるのである。

やつて欲しいことをキチンと伝えれば、優秀な職人なら技術で答える

でこれも困る。そつ、指針を定めるし、無理なら断る。

全部お任せと言つても、お店はお

客さんの予算や懇意合を心配するの

でこれも困る。そつ、指針を定める

のはやっぱりオーナーなのである。

やつて欲しいことをキチンと伝えれば、優秀な職人なら技術で答える

でこれも困る。そつ、指針を定める

のはやっぱりオーナーなのである。